



生きる力を豊かにたくましく あいほうぶだより

利用者が学校の講師に！

NO. 261 責任者
青山 茂次郎

新大阪駅のすぐ側に「大阪医療福祉専門」という医療と福祉の専門学校があります。その学校の言語聴覚士学科の授業に7月23日、宇宙班の林さんと小高さんが講師として招かれました。

2名はそれぞれが独自のコミュニケーションの方法を確立しておられ、その事を学生さんたちに伝えるために行きました。

林さんはコミュニケーション機器である「伝の心」というPCソフトを使いこなし、施設で色々な方とコミュニケーションを取っておられます。この「伝の心」は「ボタン1つでPC操作ができる」という優れものですが、実際操作してみると、非常に使いこなすのが難しく、普段使用していない人が操作してみると、遅々として捗りません。しかし、林さん程の玄人になると、ボタン1つの操作で気持などを詳細に表現され、意思を伝えてくれます。その操作を見て頂いたり、実際に口頭で話して、学生のみなさんと

コミュニケーションを取りました。

小高さんは文字盤のポインティングで、意思疎通していますが、その操作の巧妙さを伝えるよりも、平和の大切さを訴えることに注力されていました。コミュニケーションについての講義でしたが、あいほうぶの事や障がい者福祉の現状を学生の皆さんに理解してもらう有意義な時間にもなりました。お二人にとって伝えることはとても力があることですが、充実した時間になったと思います。



施設紹介をする林さんと小高さん

北千里高校の生徒さん ボランティアに取り組む



8月19日に2人の生徒さんがボランティアに来てくださいました。最初は、初めての事なので、控えめされていましたが、少しずつ慣れてきて、一日の終わりごろは慣れて来たようで、笑顔で利用者の皆さんと話してくださっていました。

福祉や医療の分野での仕事を将来考えているという事で、数ある中からあいほうぶ吹田でのボラ

ンティアを選んでくださったようです。初めての経験のようでしたが、利用者の皆さんと熱心に関わって下さっていました。特に慣れだした、午後の取り組みでは、ボウリングなどで利用者の皆さんと盛り上がり、一緒に楽しんでもらっていました。

「普段、学校や家での生活だと、関わることでできない人達と関わる事ができて、良い経験ができました。」や「あまりお話されない利用者さんでも、一人ひとり色々な場面によって、表情が違っているので、親しみを感じる事ができました。」と良い感想をいただく事ができました。

～平和の取り組み～

平和を願って・・・



8月7日に平和の取り組みを行いました。この取り組みは79年前の広島、長崎の原爆投下についてだけでなく、

世界で今も起っている戦争、紛争なども含め世界の平和を願い、毎年おこなっています。今年は『へいわってどんなこと？』『かわいそうなぞう』の本をみんなで読

み、平和について考える機会にしました。せんそうをしない、ばくだんをおとさない、おなかのすいたらだれでもごはんがたべられる、おもいっきりあそべる、あさまでぐっすりねむれる、私たちが毎日当たり前に行っていることができない人がいることに思いをはせ、最後はみんなで「折り鶴」を歌って平和を願いました。



あいほうぶ吹田 職員インタビュー

あいほうぶ吹田では、さまざまなスタッフが毎日働いています。スタッフは総勢で80名ほど。福祉の仕事に何年もの間、長く関わっている職員もいれば、福祉の仕事がはじめての職員も多く働いています。今回はそんなフレッシュなひとりの職員を紹介します。

東さん(宇宙班 支援員)

♪仕事を始めてどのくらい？

「一年ちょっとです。」

♪福祉の仕事は初めてだと思うけど、はじめてみてどう？

「はじめは自分本位だったかも。いろいろ覚えられないといけないことが多くて必死だったんで。でも利用者さんのことが少しずつ分かってきて楽しくなってきました。「話きて～」って言うてるYさんがいて、話を聞いていたら、ああこういう気持ちだったんだなって分かったりとか。」



♪福祉の仕事って、どう？

「すごく楽しいですよ。利用者さんと話する

のとか。楽しくなかったらこんなに毎日笑ってませんよ！（笑）

保育士だったんですけど、はじめは。保育士になる前にさつき障害者作業所に実習に来たのが、きっかけで。電車の中で障がいのある人に出会ってもどうしたらいいかとかわかるじゃないですか。人の為になるかなと思って働き始めたんですけど、今は自分の為にもなる仕事だと思っています。あと宇宙班の利用者さんがリハビリして頑張っている姿をみて、感動して泣いてしまいました。毎日、利用者の方が変わっていく姿をみれるのも嬉しいです。」

あいほうぶに来て福祉の仕事をはじめた東さん。利用者さんと関わることが毎日楽しい！といった様子で、笑顔で毎日、利用者さんと関わりながら、働いている姿が印象的です。そんな東さんを娘のように思ってくれている利用者さんもいるようです。



最近見た映画は「アルマゲドン」とのことで、感動して泣いてしまったようです。今日も笑顔いっぱい利用者も職員も元気をもらっています。

小高さんと一緒に考えよう

先月紹介した永井隆さんの随筆、「この子を残して」を読みました。その内容と小高さんの感想を載せたいと思います。



先月も紹介した、永井隆さんは長崎で、自身も被爆し、白血病になりながらも、原爆負傷者の救護や復興のため、医師として最後まで使命を貫き通された方です。

「うとうとしていたら、いつの間に遊びから帰ってきたのか、カヤノが冷たいほほを私にくっつけ、しばらくしてから、『ああ、…お父さんのにおい…』と言った。この子を残して——この世をやがて私はやがて去らねばならぬのか!」という書き出しで始まるこの「この子を残して」という映画化もされたこの随筆は、子供を残して死ななけれ

ばならない運命を背負った著者の遺書のような作品です。

科学者であり、クリスチャンであり、被爆者であり、父親である著者は「この三人の人間が生きてゆく正しい道はどこにあるのか?」という事を探求しながら、残していく子どもに語りかけるように、そして愛する人を残して亡くなってしまった人々の代弁をするように仕上げられています。

白血病に侵されてしまった著者にクリスチャンの妻が「生きるも死ぬも神様のみ栄えのためにネ」と語りかけるところ等は、信仰心の凄みを感じずにはいられませんでした。家族を大切に思う私達が共感感動できる作品である事は間違いありません。

小高さんはこの随筆を読みながら、非常に感銘を受けられていたようで、長い文章でしたが集中力を切らさず、読まれていました。そして、「すごい」と一言の感想でしたが、その一言に色々な気持ちが込められているようでした。

- ～出 店～
- ・カレーライス
 - ・からあげ
 - ・ポテト
 - ・たこやき
 - ・クレープ
 - ・アイス
 - ・かき氷 etc...



～イベント～

ゲームコーナー

バザーコーナー
舞台イベント
おもちゃ作り体験
じゃんけん大会
(景品あり)



(舞台出演者)

開幕太鼓(風雅)、
藤白台保育園さんの園児、
永田カツコ親娘ユニット
「おかんといっしょ」
あいほうぶ吹田星の会
(利用者自治会)

ハロー福祉
ガンバ大阪キッズ
ロザリンド
MC: ゆっきー



9月7日(土)

ここ4じ～7じ

地域 みんなで楽しみましょう♪

お待ちしております!

※ 当日の駐車場はありません。

プール・介助浴室を開放しています

土曜日、日曜日にあいほう吹田の温水プールと介助浴室を開放しています。
プールや入浴は、リハビリにも効果的です。ぜひご利用ください。

利用できる方 ・吹田市内にお住まいの障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方とその介助者。プールは18歳未満の方も利用できますが、18歳以上の介助者の同伴が必要です。

利用時間 ・10時から16時まで

注意事項

プール利用について

- ・混雑を避ける為に定員を設けています。
- ・スイミングキャップが必要です。
- ・受付で障がい者手帳を提示し、手続きをしてください。
- ・観覧者はマスクをして、廊下からご覧ください。
- ・採暖室と更衣室(シャワー室を含む)の利用は原則1組に限ります。

介助浴室利用について

- ・介助浴室の利用は、予約制で、原則前日の17時までです。
- ・原則1時間に1組。
- ＊ボディソープ、シャンプーはご持参ください。



プールは縦が15m、幅6m、そして深さが1mです。(3レーン)
隣に子ども用のプールとして、深さが40cmのサブプールがあります。

多目的ホール・会議室が利用できます

(土日9時～22時) 障がい者団体あるいはその支援団体、ボランティア団体などの活動の場、交流の場として利用できます。(事前登録が必要)

御礼

7月号でCDラジカセの寄付を呼びかけたところ、
地域の方々から2台も譲りいただきました。

本当にありがとうございました。



9月7日土曜日午後4時からあいほうぶ祭が開催されます。たくさんの方々に来て頂けることを楽しみにしています。

T

9月に入りまだまだ暑さが厳しいですが熱中病等気を付けながらお過ごしください。
これまででは、毎月あいほうぶだよりの印刷・折り・発送の作業をしています。今月から編集にたずさわることになりました。コンピューターの操作等まだまだ不慣れなところもありますが頑張っていきます。

編集後記



吹田市立障害者支援交流センター あいほうぶ吹田

(吹田市指定管理者 社会福祉法人 さつき福祉会)

吹田市千里万博公園12-27

生活介護事業 06-6816-6895 短期入所事業 06-6816-6897

メール i-staff@s5.dion.ne.jp ファックス 06-6816-6898

ホームページ <http://satuki-fuku.sakura.ne.jp/ihope/index.htm>